

# さくらんぼコート 支援プログラム

それぞれのプログラムは定められた【5領域】に対応し行っています。  
プログラムが属する領域、その意図、および評価について詳しく説明しています。

株式会社さくらんぼプロジェクト  
児童発達支援/放課後等デイサービス さくらんぼコート

領域	タイトル	理由/成果	児童発達支援	放課後等デイサービス
健康生活	持ち物管理	理由	身辺自立を促す	自分の物を管理する力を育て、社会に出た際に日常生活での困り感を軽減する。
		成果	自分で荷物の用意ができる、自発的に玩具の片付けができる。次の活動(行動)にスムーズに移行できるようになる。	自分の物をカゴにまとめて、物をなくすことや忘れ物の頻度を減少させる。
	水分補給	理由	基本的な生活習慣を身に付ける。	自分の状態に気づき、健康に過ごすことができるようになる。
		成果	水分補給の時間になるとお茶を飲むことが習慣化される。	水分補給の時間になるとお茶を飲むことが習慣化される。
	手洗い	理由	生きていく上で大切な行為になるので、自立して行うことができるようになる。衛生に対する意識を高め、行動を般化させる。	生きていく上で大切な行為になるので、自立して行うことができるようになる。衛生に対する意識を高め、行動を般化させる。
		成果	昼食やおやつの前に、手を洗うことを習慣化される頻度が増やす。	昼食やおやつの前に、手を洗うことを習慣化される頻度が増やす。
	クッキング	理由	基本的な生活習慣や生活動作を身に付ける。	楽しく他者と過ごすことができるようになるため。手順や道具の正しい使い方を理解する。
		成果	自分で食具を使って食べる。苦手なものも食べる様にチャレンジする。	社会的なルールから日常生活における小さなルールまで、生きていく上で必要な力が育む。スタッフの話を聞き、手順を守ってクッキングに取り組む。手順が分からぬ時には、質問して適切な行動力を習得する。
	足湯	理由	ルールを守りながら時にはお話を楽しむ時間を持つ。	
		成果	水に対する抵抗感を軽減させる。足裏の感覚の向上させ、水遊びをすることなくルールを守れるようにする。	
	製作	理由	自身と子供の成長の変化への気づきを促し、共に喜ぶ。	5指の分離や手首の使い方の向上を目指す。手先の器用さや両手の協調動作の向上から、道具操作や身辺自立動作に繋げる。
		成果	家族や祖父母とのコミュニケーション機会を増加させる。	手先の器用さが育つことで、鉛筆やペンが持ちやすくなり、書くことへの抵抗感を軽減させる。お箸を使う意欲にも繋げる。
運動感覚	ボール遊び	理由	ルール理解、距離感・方向感覚を養う、体幹を鍛える、手と目の協調性。異年齢や能力に合わせたコミュニケーションが取れる	距離感やリースポットの理解。ボディバランス、イメージの向上。目と手や目と身体を協調的に動かす力の向上を目指す。
		成果	積極的に動くようになり、年下のお友達に対する配慮も出来るようになる。	ボールを投げる、キャッチする動作を上達させ、協調動作や追跡運動の向上させる。子どもたちが運動能力の向上を実感させる。
	ハンモック＆ブランコ	理由	自分の身体の位置を知る、平衡感覚の向上	自分の身体の位置を知る、平衡感覚の向上
		成果	バランス感覚が身につき、座っていられる時間が増やす。	バランス感覚が身につき、座っていられる時間が増やす。
	サーキット	理由	体幹を鍛える、順番を守る、注意力の向上、他児と協力する、バランス感覚の向上	体幹を鍛える、順番を守る、注意力の向上、他児と協力する、バランス感覚の向上
		成果	人やものにぶつかる頻度が減らし、自分の順番を待てるようになる。	人やものにぶつかる頻度が減らし、自分の順番を待てるようになる。
	リトミック	理由	聞く力の向上、動作模倣、リズム感を養う、想像力・表現力を養う	聞く力の向上、動作模倣、リズム感を養う、想像力・表現力を養う
		成果	(離席の多い子)楽しむ活動に参加する機会を増やす。	(離席の多い子)楽しむ活動に参加する機会を増やす。
	感触遊び	理由	適切な力の入れ方の理解向上。指先の微細運動向上。情緒を育む。身体の表在感覚(触覚・圧覚・温冷覚)の向上。ボディイメージ(前庭覚・固有受容覚)の向上。	適切な力の入れ方の理解向上。指先の微細運動向上。情緒を育む。身体の表在感覚(触覚・圧覚・温冷覚)の向上。ボディイメージ(前庭覚・固有受容覚)の向上。
		成果	物の扱い方の向上が見られる。微細運動(お箸の使い方)の向上が見られる。「気持ちいい」「気持ち悪い」等の感覚に触れることで感情が生まれる。指先の感覚刺激による微細運動向上。	物の扱い方の向上が見られる。微細運動(お箸の使い方)の向上が見られる。「気持ちいい」「気持ち悪い」等の感覚に触れることで感情が生まれる。指先の感覚刺激による微細運動向上。
	お外遊び	理由	桜やイチヨウなど四季に触れながら感性を養う/基礎体力の向上	
		成果	興味を示す幅が増やす。	
言語	絵カード	理由	PECSを活用して、言語表出に苦手がある子どもが欲しい物を要求できるようになることを目指す。言語+視覚支援を用いることで、誰にとっても分かりやすい環境づくりを目指す。	PECSを活用して、言語表出に苦手がある子どもが欲しい物を要求できるようになることを目指す。言語+視覚支援を用いることで、誰にとっても分かりやすい環境づくりを目指す。
		成果	欲しいおやつを要求する頻度が増やす。視覚支援を活用することで順番を自発的に守る姿が見られるようになる。	欲しいおやつを要求する頻度が増やす。視覚支援を活用することで順番を自発的に守る姿が見られるようになる。
	おままごと	理由	想像力・発想力を育む、友だちとの協調性や共感力の向上。向社会的行動を培う。	
		成果	相手の立場に立った行動をとれるようになる。	
STアプローチ	STアプローチ	理由	語彙の理解と表出の向上、言語の形成と活用、基礎的なコミュニケーション能力	語彙の理解と表出の向上、言語の形成と活用、基礎的なコミュニケーション能力
		成果	お友だちとのやりとりが円滑にできるよう、表出できる語彙が増やす。	お友だちとのやりとりが円滑にできるよう、表出できる語彙が増やす。
認知行動	スヌーズレン	理由		プラネタリウムを取り入れて光や音楽に触れ、情緒を安定させたり、リラックスしたりする時間を作っている。
		成果		音楽や光に集中することで情緒が落ち込む。スヌーズレン活動後に、落ち込まないで次の活動に移ることが出来るようになる。
	ボールプール(宝探し)	理由	宝探しゲームや色探しゲームを行うことで、集中力や見る力を育てる。	宝探しゲームや色探しゲームを行うことで、集中力や見る力を育てる。
		成果	図地弁別や形色の識別力が育ち、文字の識別や整理整頓能力の向上にも繋げる。	図地弁別や形色の識別力が育ち、文字の識別や整理整頓能力の向上にも繋げる。
	お買い物体験(ごっこ)	理由	基礎的な買い物の流れの理解を促す/友だちとのやりとりを楽しむ	数字・文字・ルールの理解ができる事で、生活の質を上げるため。
		成果	お金を払うという概念が理解できるようになる。	お金の計算ができる事で生活の質が向上する。文字や数字に興味を持ち、意欲的に学ぼうとする姿を育てる。
	パズル	理由	集中力、忍耐力、記憶力、空間認識力の向上。手指の巧緻性を高める。感覚統合。	集中力、忍耐力、記憶力、空間認識力の向上。手指の巧緻性を高める。感覚統合。
		成果	色や形の認識力を上げる。	色や形の認識力を上げる。
社会性	知育プリント	理由	集中力、忍耐力、記憶力の向上。学習習慣を身に付ける。見通しを立てる、全体を把握する、上位概念を理解する力を育む。	集中力、忍耐力、記憶力の向上。学習習慣を身に付ける。見通しを立てる、全体を把握する、上位概念を理解する力を育む。
		成果	学習への意欲を高め、抵抗感を減らす。	学習への意欲を高め、抵抗感を減らす。
	危険予測	理由	物事に反応できるスキルを上げることで危険察知能力の向上を目指す。	物事に反応できるスキルを上げることで危険察知能力の向上を目指す。
		成果	危険を予測して行動する力を育てる。危険察知能力の向上させ集中力を向かせる。	危険を予測して行動する力を育てる。危険察知能力の向上させ集中力を向かせる。
社会性	絵本・紙芝居	理由	想像力を養う、集中力の向上、好奇心を育む	想像力を養う、集中力の向上、好奇心を育む
		成果	文字に興味を持ち、他者の話を聞くことができる時間を増やす。	文字に興味を持ち、他者の話を聞くことができる時間を増やす。
	お片付けゲーム	理由	お片付けの習慣化	
		成果	お片付けの速度を上がる。効率的に分類して片付けるをし、片付けへの苦手意識を軽減する。	
	おやつ当番	理由	思いやりや協調性を養う	思いやりや協調性を養う
		成果	自分の役割を理解し、責任を持って行動できる機会を増やす。	自分の役割を理解し、責任を持って行動できる機会を増やす。